

多様な災害に対応したBCP策定ガイドラインに関する検討会

第3回検討会 議事要旨

○日時：令和5年3月7日（火）15：00～17：00

○場所：三菱UFJリサーチ&コンサルティング 24階大会議室／リモート会議（Teams）

※資料の説明がなされた後、意見交換を行った。

<ガイドライン（案）について>

- ガイドラインを読んでもらうことが必須であるので、構成はシンプルに、また、連携モデルやアンケート調査結果等は軽くした方がよい。
- すべてに共通のところと、個別のところを整理するとよい。本ガイドラインの内容は、緊急時に特別に対応することか、平時の延長線かということがある。自身としては平時の延長線の取り組みと考えるが、BCP というと危機管理対応ということになるのだろうか。
- アンケート調査結果でも、災害により物流に支障が出たということは頻繁に起きている。災害は常に起きているということを最初に書いた方がよい。
- 読みやすさという点での構成についてはともかく、内容的には必要なことがカバーされている。p8の表は重点項目を記載しているものなので、必須項目の後に回してはどうか。
- p8の表と別添図をベースに整理し、別添図には必須項目も入れられるとよい。全体としてこういうものができるという分かるものがよい。
- 各論はごもつともなことが書かれており、これで間違いない。文章ばかりだとわかりにくいので、別添イメージ図をわかりやすく整理し、何をやればよいのかを最初に持ってくるとよい。何をやればよいのかを明示した方がよい。
- p25の代替輸送手段に関し、当社は災害に弱くお叱りを受けることが多いが、最初の部分は、利用運送事業者と荷主で鉄道が止まった時どうするかをBCPとして検討いただくことになる。当社と荷主、利用運送事業者の関係でいうと、荷主との直接契約はないが、利用運送事業者と一体となって荷主にサービスを提供している。その意味で下請け物流事業者に近いが、キャリアの立場をどう入れていくか検討してもらいたい。当然、利用運送事業者任せでなく、当社も代替輸送策を講じるが、この中でどう位置付けるか。

- BCP も全社的な話と地域的な話がある。関係者の協議のところについては、段階を作っておく必要があるかもしれない。
- タイムラインに即した別添図と、p8 の表をうまく整理していけばよい。安全第一ではあるが、BCP は事業継続が目的である。優先業務、代替手段等があった上で、安全確保に問題ある時には休止等の対応が出てくることになる。
- 事例がいくつかあるので、何を共有しているか等が分かればよい。事例があると分かりやすくなる。人材の育成・確保が課題なので、これをしようとしている企業があれば、その事例もあるとよい。活用可能な国・自治体の制度も整理してほしい。
- p22 の代替輸送手段について、代替デポに関する記述が p25 のアンケート結果の 5 番目にあるので、これについてもクローズアップしてほしい。p19 の「重点顧客」を物流事業者が決めるのは難しい。国などに示してもらえないと決められない。一方で、同じ荷主の中で優先品目等があるのは了解できる。